

県小学校



<所在地>

〒512-1204 四日市市赤水町 1002 番地

TEL 059-325-2084

1 読書活動について

(1) 読書活動の推進について

ア 読み聞かせボランティア「かぐやひめ」さんによる活動

【朝の読み聞かせ】

月に1回、各クラスの朝の学習の時間に、図書ボランティア「かぐやひめ」さんに、絵本の読み聞かせをしていただいている。図書館まつり期間は、低学年を中心に毎日来ていただいております。たくさんのお本と出会う機会となっている。季節に合った絵本や子どもの生活に合わせた本など、子どもたちの興味や関心が広がる様々な絵本を紹介していただいている。



【ビブリオバトル《全学年》】

2学期の図書館まつりに、ビブリオバトルを行った。3人のボランティアの方に学年に合った本を1冊ずつ紹介していただき、一番読みたいと思った本に子どもたちが投票した。色々な本のおもしろさを知る機会となった。



イ 図書館まつりイベント

【読書でGO!】

図書館まつりの期間、「読書でGO!」に取り組んだ。四日市から名古屋までの間の駅名が書かれたカードを掲示し、図書館まつりの間に、本を借りたらシールを貼ることができる。本を借りると、駅名がどんどんうまり、電車が進んで行くので、

子どもたちも楽しみながら取り組むことができた。ゴールしたら、2枚目、3枚目に取り組むクラスもあり、新たに本を借りて読もうとする意欲を引き出すことができた。

(2) 家庭読書の推進

図書館まつりの期間「読んデー」を設定し、家庭で毎日本を読む取り組みを全校で行った。読んだ本を毎日記録し、一番心に残った本を「宝物の一冊」として感想を書いた。10冊以上になった子には、「読書の記録」の冊子を渡し、さらに記録を残せるようにした。多くの児童が家庭で本を読む機会となり、「読書の記録」に進んで取り組む姿も見られた。

2 表現活動について

【3年生「ぐるぐる読書」の取り組み】

4人グループで、2分間本を読み進め、時間になると読んだ本の点数をつけ、本を交換する。最後に点数を合計し、グループの代表が点数の高かった本や続きを読みたくなった本の理由を発表した。「1時間とても楽しかった。」「どうなるか、続きをもっと読みたいと思った。」「どうやって発表したらいいか考えた。」など、新しい本への関心が高まるとともに、伝えたいことを工夫して表現する機会となった。



3 成果と課題、今後の方向性について

今年度、様々な取り組みを行ったことによって、図書館まつりの期間や、運動場で遊べない日などの図書館来館者数が増えた。一方で、様々な行事や授業とのかねあいで、なかなかゆっくり図書館で本を選んだり読んだりする時間がとれなかったという課題も残る。今後も、図書館の本を楽しめるよう、様々な活動を進めるとともに、来年度は、メディアセンターとしての図書館の利用が広がるような取り組みを進めていきたい。